

感謝の言葉

2018 年 11 月 1 日

読者の皆さん

もしあなたが、世界中のあらゆる国の言語を学んでみるなら、感情であり、気づきであり、そして心の徳である「感謝」を表わす言葉や表現が、何千とあることを見いだすでしょう。それらのうち、ある言葉は、柔らかで優しく、声に出して言う時には、舌の上に砂糖があるかのようです。他の言葉はもっと響きがあり、堂々として、威厳に満ちていて、パイプオルガンのような深い音が、声帯を通して出てきます。さらに他の言葉は、それらを口にする時、陽気でくるくる回るでしょう。あるいは、火花が散ったり、ポンと鳴ったり、子音の中にある打楽器のような音かもしれません。

これらの言葉や表現の一つ一つ —— その音、ニュアンス、その意味を導き出す文化的背景 —— は、感謝の新たな次元を伝えてくれます。そして、それらすべては、いろいろな意味で必要であると感じます。感謝を名付け、表す方法が多過ぎるということは決してないのです。もし何かあるとすれば、私たちが持っている言語は不十分と思われることで、というのも私たちが言葉にしようとしている感情は非常に大きく、多面的で、不思議なものだからです。

11 月は、米国では感謝祭、そして他の国々でも似たようなお祭りがある月です。伝統的に、土地を耕した人々が、何カ月も前にまいたものの実りを収穫する時期です。それから彼ら —— そして彼らの重労働から恩恵を受けるすべての人々 —— が、収穫された食べ物を食べ、大地やお互いに対し、そして、このように豊かな実りと生活を可能にしてくれた全能なる神の恩恵に、感謝をささげます。

シッダ・ヨーガの道では、私たちもまた、この時期を振り返りと感謝のためにささげます。実のところ、これらはサーダナーにおいて、常に続けて実践しているもので、その両方がグルの教えを吸収し、人生における大小の出来事の中にある恩恵を認識する力を磨くために極めて重要です。とはいえ、この目的のために具体的な時間を取り、そうすることによって世界中のシッダ・ヨーギたちが共に加わることには、非常に大きな価値があります。しばしば、他の人々が分かち合ってくれる洞察がきっかけとなって、私たち自身も神やグルのことを思い出します。私たちは、他の人々の中にも同じ感情を認める時、自分自身に深く根差している感謝の気持ちに、より簡単に触れることができます。

2018 年のグルマリーのメッセージは、「サツァング」です —— そして、今までに、何に私たちが感謝しなければならないかを一つに詰め込んだものがあるとすれば、これこそがそれだと私は思います。一瞬のサツァング —— 1000 分の 1 秒の間、真理と共にいること、私たち自身の大いなる自己を一瞬垣間見ること —— でさえ、信じ難いほどの宿命なのです。不思議な運命です。それは何回もの人生からくる実りであり、紛れもない感謝の賛歌に十分値します。このような理由で、偉大な聖人や賢人たちは、数多くの歌や詩を作り、彼らの感謝の大きさを正確に言い表すことを、明らかに苦勞しながらも —— その苦勞とは逆に —— 美しく、魅力的な詩節を通して、探求しました。詩聖カビールによる、そのようなドーハ、または二行連句の一つがあります。多くの伝統の文献の中にも見いだされる古典で、「シヴァ・マヒムナ・ストートラム」の中にもあります。この詩の中で、カビールは書いています。

सब धरती कागज करूँ, लेखनी सब बनराय,
सात समुन्दर की मसि करूँ, गुरुगुण लिखा न जाय।

もし大地を紙にして、
すべての森をペンにして、

もしすべての大海をインクにしても、

それでもなお、シュリー・グルをたたえる言葉は書き尽くせないだろう。¹

肝心なことは、シッダ・ヨーガの道において私たちが話しているのは、単に一瞬、真理と共にいることではないということです。また、私たちの気づきの中に光がおのずと輝き出るのを待たなければならいということでもありません。シャクティパート・ディークシャーを授け、メッセージを与えることで、グルマリーは、真理と何度も何度も何度も共にいるための手段を与えてくれたのです。これがどういう意味なのかを、少しの間、考えてみてください。グルの寛大さについて、それは何をあなたに告げていますか。そして、この寛大さがどれほど無限に深く、いかに知るに難いかを考えると、必然的に「語られずに」おかれていることとは何でしょうか。

いつでも、一歩下がって、このような問い掛けをし、似たような振り返りに取り組むのは役に立ちます。実際、ただ知的に感謝をすべきだと認識するから、感謝があなたの内側に湧き上がるわけではありません。しかしながら、あなたはその知性を「使う」ことができます。知性と共にあれば、あなたの考え方や問い掛けが、あなたを新しくて啓示のあるところへ導いてくれるでしょう。あなたは、心の英知と感情に触れることができるのです。

ですから、今月は、2018 年のグルマリーのメッセージのあなたの実践を、注意深く熱心に振り返ることをお勧めします。もし、今年のこれまでのあなたのサーダナーをたどるのは大き過ぎ、広過ぎると感じるならば、まず、一つの瞬間 —— あなたが自分自身の良き仲間を確かに味わった瞬間、グルマリーがサツチャラサ、真理の神の食物という美しい言葉にしたものを味わった瞬間 —— から始めてください。その瞬間がどのようなだったか、その風合い、その特別な感じや味わいを思い出してください。それからあなたの振り返りが、あなたをどこへ導くかを観察して

¹ English rendering © 2018 SYDA Foundation.

ください。最初の精神的なエクササイズから、記憶を正確に絞るという厳密な行動、そして思い出すことへと——つまりサツァングそれ自体へと、そして自然に続いてくるものへと。

振り返りと実践の助けを得るために、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを訪れてみてもよいでしょう。11 月には、ウェブサイトでは、今年から毎年恒例となる、感謝を表す言葉のギャラリーも掲載され、毎日新しい言葉が音声を伴って掲載されます。あなたが今年一年を通して学んできた多くの教え、解説や、画像を集めたものもあります——いわば、2018 年のシッダ・ヨーガのサーダナーのハイライトを仮想空間上でたどる特集です。そして、多くの資質のうちの幾つかを描いたとても特別な動画と、今年のメッセージに関するサーダナーのツールが掲載されるでしょう。

インドでは、この 11 月はデーパーヴァリー(または、ディーヴァーリー)の月、つまり光の祭りの月でもあります。これはシッダ・ヨーガの道でも祝うお祭りで、大いなる自己の聖なる光の象徴であるディヤのランプの中で踊る炎、あらゆる時間の循環とこの宇宙の変動をくぐり抜けた大いなる自己の勝利と持続を祝います。この祭りの間(11 月 4 日から 8 日)、ウェブサイトには関連する物語や、フォトギャラリーや音楽が掲載されます。

デーパーヴァリーは必ずしも感謝の月に当たるわけではありませんが、そうなる時には、素晴らしい組み合わせになります。二つのお祝いの間をつなぐ糸に気づくかもしれません。私たちの内側に大いなる自己の光が輝く時、私たちは豊かさを知覚します——使い果たすことのできない類いの豊かさ、状況によって変わることのない豊かさ、不満の数が多かろうと少なかろうと、それに影響されることのない豊かさを。そうでなくとも、その豊かさは、より落ち着いた心で人生を歩む助けになります。

私たちはこの豊かさを外側に反映します。例えば、私たちが用意したり分け合ったりする食事に、私たちの家に他者を迎え、彼らが私たちの人生にもたらしてくれたものを感謝するあり方

に。一方では、豊かさの本当の感覚 —— 充実感や、満足感、もう何もいらないと思うことや、その結果として感謝で心がいっぱいになること —— を、私たちは内側に認識します。

そして、この感覚、この感情こそが、社会的な礼儀から言う機械的な「ありがとう」と、心に生まれたために、快く、喜んで、心から生じる「ありがとう」を駆り立てる力との違いです。この感覚は、言葉以前に湧き出た源泉で、私たちの言葉が溶けて沈黙になった後にも長く続く源泉です。それは、私たちの頬を伝わって落ちる涙が伝える言葉、そして、私たちの目が星のように輝き、優しさが現れて目尻にしわが寄る時に、その目の中に表現されるものです。そうだからこそ、私たちの語彙(ごい)を全部集めた中に感謝を伝えるための言葉がどれだけ多くあろうとも、今もこれからも、それらは決して十分ではあり得ないのです。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ



© 2018 SYDA Foundation®. 著作権所有。